考古-4



土器をスケッチしてみよう

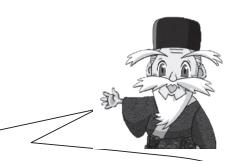
1つの資料をじっくり観察して記録し、ほかの資料と くらべてみよう。

下の土器を見つけて、次のページにスケッチしよう。考古 部門展示室の「時代をはかるものさし」というコーナーに あります。



♪ スケッチの手順 _{りんかく}

- ① 最初に全体の輪郭をかこう。
- ② 次に文様をかきこみましょう。形や大きさ、間隔などに 注意しよう。
- ③ 仕上げに色や影をつけてみよう。
- ④ スケッチで表現できなかった部分や気づいたことはメモをかこう。



おぬしがスケッチした土器は、嘉手納町にある嘉手納貝塚から出土しておるんじゃよ。嘉手納貝塚は今から約 4000 年前の縄文時代後期の遺跡なんじゃ。

土器には「荻堂式」という型式名が付けられてある。型式とは、同じような形や文様などを持った 土器のグループのことじゃ。荻堂式土器は、北中城村にある荻堂貝塚で発見された土器を基準にして あるんじゃよ。

色々な型式の土器を時代順に並べると、時代をはかるものさし (編年表) が出来上がるということじゃ。